

る姉妹はゐないが、家族内に殊に母親などが結核であるかどうかを問い正しておく必要がある。若しそんな兄弟がゐたとして、其の子供が刺戟性の咳を初めたとしたら直ちに、此の咳は百日咳の咳の初期のものとか或は麻疹の初期のものとかと想像されるのである。

食欲不振 お晝とかお入つの時の食べ方を見てゐると大體解る。併し大勢の子供と一緒にだそう食べたくないものでも食べてしまうことがある。此の際馴れた保姆さんであると思つ御飯を残すか残さないかに注意をしてゐる。又保育兒を受取る場合必ず今朝の御飯はよく食べて来たか否かを問ひ直す可きである。御飯も食べないで来てなるとなく元氣がない様子であれ早速前述の脈搏の測定と、出来得れば計温をしてやらなければならぬ。斯の様に急激に來た食欲不振に對して、慢性の即ちいつもお晝御飯を残すと云うやうな場合は必ずツッパルツッパルの反應を檢査してやらねばならない。

腹痛のある場合 ぼん／＼が痛いよなど教へてくれるのはまほぶの場合で、多くは前くぐみになつてじつとするとか、泣き出

すとか云つたことになる。お腹が痛い泣いてしばらくするとけろりとしてゐるのは再發性腹痛症と云つて三―四歳位の神經質の子に見られる。此の場合熱はない。灌腸などすると硬い便が出る。便秘性のものが多い何等心配はいらない。

熱がなくとも心配なのは腸閉塞や蟲垂炎(盲腸炎)である。時には脱腸の嵌頓症がある。これ等の場合腹痛は長い間斷續的に見られて、苦悶の状を呈する。遊戯中一寸お腹痛いと云つて泣いて又しばらくするとけろりとするやうな場合と異り早く醫師の所へ届けなければならぬ。

躰の指導

戦時下の幼稚園、保育所で幼兒の躰の問題は保健問題と共に、常に保育の實際にあつたものが二つの大なる保育目標として考へられてゐることは今更いふまでもない事である。皇國幼兒としての基礎的錬成はこの二つの目標の達成によりて出来るもの

以上を要約して見ると、

顔に生氣のない兒を見た時 處置(脈搏の測定、計温)

熱なくとも脈搏の早い場合 發熱の前驅

期(感冒、疫痢)、神經質兒

顔色の紅味 片側のみの時は輕熱、蒼い

時、寄生蟲、結核

咳が乾性で刺戟性のとき 感冒の初期、

麻疹の初期、百日咳の初期、肺門淋巴

腺腫脹(主として結核)

と云うことになる。

以上甚だ不完全なものと思ふが少しでもお役に立てば幸と思つてゐる。

及川ふみ

で、保育のすべてはこの健全な身心の發育を主眼とする保育目標に向つて一路邁進する事である。

しかも戦時下の今日、この躰の問題については既に年を重ね、お互保育者の間に種々考究せられ、且つ實施せられてゐる事

であつて今更事あたらしく擧げる何物もないのであるが、たとへばとしてその實行といふ點についてたへざる反省が最も重要な事である。

躰は身心一如として實行の出来るものであるが、比較的身體的鍛鍊の部分の多いものと、精神的鍛鍊の部分の多いものがある。

身體的鍛鍊によつて幼児の健康の維持、増進をはかる事は云ふまでもないのであつて、精神的鍛鍊は幼児の健康状態の良否に直接に密接な關係にあるものである。

したがつて身體的鍛鍊が躰の根本となつてゐるのも幼児の躰の本質である。

こゝに幼児の幼稚園或は保育所においての一日の生活の間において特になされてゐる躰の實際について反省をこゝろみてみる事にする。

一、保健的の躰

登園直後の含嗽

仕事の始め終り時の手洗

歩行訓練

食事前後の手洗及び含嗽

用便

其他

一、精神的の躰

禮儀 整容

感謝

仕事に對してのねばり

我慢強く

動植物を愛護する

物を大切に

其他

など考へられる。

朝の挨拶

登園後直ぐに保姆に對して朝の挨拶をする。これはごく簡単なことではあるが、始めからしないと途中からはきまりが悪くなつて、こんなやさしい事も出来ない事もあるから入園最始から躰なくてはならない。友達同志は保姆の指圖によつて一同一緒に朝の挨拶をする。

含嗽手洗

とりわけ冬季、傳染病の流行期などには含嗽を充分にすること、乗物によりて通園するものはことに手をよく洗ふ事。

各自の所持品の始末

お辨當その他のものを所定の場所におく

事。この際、ものを大切に取扱ふことなどについても注意する事。

用便

用便の習慣はある點まで時間的に習慣がつけられる様であるから仕事にかゝる前に用をたしておいて、お話の途中、遊戯の途中などみだりに席をはづして用便にゆかない様にすること。

感謝のことば

幼児は全面的に自分の受持の先生などに對して信頼してゐる。そして敬愛してゐるのであるが、これについて別に感謝を言葉であらはず機會はない様であるが、幼い時から、保育者ばかりではない他人から何かしてもらつた時に感謝を言葉であらはずことも躰ておく事もよい、これをお話のときなどに實際實行して見る事も一方法と考へられる「アリガタウゴザイマス」と言葉をもつて感謝を表はす、これは保姆自身に禮を云はせると考へるのではなくて、お話をきかせてもらつたのでお禮をいふといふのであつてその躰をするのである。

我慢強く

遊戯、體操などの様な場合身體的鍛鍊の

時には、とくにこの我慢強くする機会が多い。一人一人の歩行訓練なども我慢強くすることにもなるが、大勢の人と一緒に行動する時に落伍しない様にする事など集團的保育を受けてゐる時にだけ出来る躰の一つである。隊伍をととのへて歩く事は大人には大した努力も要しないが幼児たちの日常をみてゐるとお互に先を争つたり、道草をしたりする事も多いからこんな機会に躰ちのであらう。

後片付

手技、自由遊びの場合にはこの後片付の時間の餘裕を與へて幼児が實行出来る様にしたものである。ことに手技などの場合、幼児も保姆も仕事をれ自身には熱心であるが、後片付の餘裕もなく過すことが往々にしてある。自由遊びなどの後片付もなか／＼實行がむつかしい、砂場、おま／＼、ご道具、積木などの片付は充分によく躰たいものである。

動植物の愛護

これは觀察と最も關係が深いものである。季節々々のものゝ種を蒔き、培つてゆくうちに觀察の機会が度々あると同時にこ

れ等に對しての愛護の念も自然に湧きおきてきて、水をやつたり、除草をしたりして楽しみながら自ら幼児に與へるところが多い。花をみだりに摘みとつたり、枝を折つたりする事も自分の育てゝある草木などには出来ないことである。簡単に栽培出来るお葉類などをお辨當の時に汁の實にする事など幼児たちはどんなに満足する事であらう。

お辨當時の躰

この時にはいろ／＼の躰をする機会が多い。

食前の含嗽手洗

感謝 崇神の念、戦時下皇軍に對しての感謝

感謝

靜かに 言葉少く、よくかむ事
好き嫌をせず 食へのこしをせず、綺麗にたべる事

食器の後片付を丁寧に

食後の含嗽

食後の挨拶

食後はしばらく靜かにすること
食事中には以上のいろ／＼のよき習慣を養ふ機会が多い。

一日の遊びの後片付

一日の遊びが終つて歸る前には室内、戸外の後片付が大事なことである。遊び道具の後始末、繪本、積木、おま／＼ご道具など整理整頓はもとより、紙屑などを拾ひあつめて幼児たち出来る範圍の片付をする。これは當番制にする方が責任をもつてする、ことに年長組のものには自分の部屋だけに止まらず幼稚園全體の整理をさせる事などもよい。

整容

幼稚園、保育所より下降する前に一應幼児たちに整容の時をもたせる事。

被服 ことに前掛、ハンケチなどの汚れはないか、顔や手の汚れなど注意して汚れたまゝ歸らない事などに習慣づける。

この戦時下、粗衣、粗食に甘んじる事はあつても、整容といふ點は大切なことである。

勤勞の手傳

小さい幼児たちはこの勤勞といふことはびつたりあてはまらない様な氣持もするが外に適切な言葉がないから勤勞としておくが勤勞の手傳である。小さいながらも自分

の事は出来るだけ自分でする。尙大人の手傳をする。人手のほしい今日簡単に幼児に出来る用事は幼児がするといふ事である。

一ヶ月のうちある日を定めて幼稚園の草取りする。或は園藝の手傳として畑の石拾ひ、土運び、或は部屋引出の整理、整頓など幼児相當に出来る仕事もある。幼児には一齊制とか交代制とかいふ形でさせる事が割合によく出来る様である。個人々々とするにはおぼつかない所がある様である。

以上保育の一日について躰の實際について一通り考へて見たのであるが、この外まだ躰の機會も多くあらうし、又その方

遊戯について

福田 静子

幼稚園に於いて、幼児の體育運動としては、體力遊び、自由遊戯、音楽を伴ふ遊戯（唱歌遊戯、律動遊戯）があるが、私はここに音楽を伴ふ遊戯についてその取扱ひ方を考へてみたいと思ふ。

遊戯の指導方針

法もいろ／＼ある事である。

要するに相手は素直な幼児たちである、こちらの仕向け方によつてよき習慣をつけられる事も多いと同時に又、その保姆の努力に對してのひびきもあはいものでもある。いづれにしても幼児の躰はたへざる保姆の努力によつて培はれるものである。

その方法は實際家の創意と工夫によりて實際に築きあげられるのであるが幼児と相談の上、この月はこの點に特に皆で氣をつけませうといふ様に、ある期間中一つの躰の事項について反省する方法なども具體的の一方方法であるかとも思はれる。

幼稚園の遊戯は、幼児の生活活動な某とした自然的運動によつて、身體活動の喜びを喚起し、身體各器官の強健を圖り、以て健康の基礎となし、快活な心情、公明な態度を養ひ、自我を捨て、規律、勇氣、忍耐、協同、團體精神を涵養することである。

遊戯の選び方

この時代の體育は幼児の生活活動を出発點としてめなければならぬ。幼児の生活運動は精神と身體とが未分化の状態に於いて活動する故に、原始的自然的な運動となる。従つて遊戯の材料は幼児の生活に適合し生活事象の遊戯化されたものでなければならぬ。そして、どびたくてたまらない、走りたくて仕方がない、常に動きたい幼児の活動性を壓へつけない爲に、活動的な動作を含むものでなければならぬ。幼児の身心にびつたり合つた原始的な直線的な表現であるか否かを顧慮して、それに適合した運動をもつた遊戯を選ばなければならぬ。

こゝで、音楽を伴ふ遊戯の中には、唱歌に動作のついたものも多いから、先づ歌の選擇にも意を用ひなければならぬが、幼稚園の歌は、拍子は、 $\frac{2}{4}$ 拍子、 $\frac{3}{4}$ 拍子、 $\frac{4}{4}$ 拍子で、簡單なりズムをもち、八小節乃至十二小節、長くて十六小節よりなるもの、しかも子供らしい簡單快活な歌詞が長くて三節まであるものを選びたい。

遊戯指導上の諸注意